

桜の小枝染め 3年生

3年生の桜の小枝染は、作品展を終えてホッとひと息ついていた3月に始まりました

<手紡ぎサークル3年生からの自習報告です>

はじめに

ヒコバエの小枝を花が咲く前の時期に採取して、3年の活動が始まつたら一番にとりかかる予定でしたが、新コロナウイルスの蔓延で、それぞれが小枝を自宅に持ち帰ることに

染色に当たっては、事前の打ち合わせをグループLINEのテレビ電話で行い各自が自宅で作業に取り組みました

小枝採取 2020/ 3/ 5



小枝裁断 2020/ 3/13



裁断した小枝を水に浸け置く

活動開始を心待ちしながら
水は概ね2~3日
暑くなつてからは臭えれば
毎日入れ替えました

(次頁に続く)

7月末 友の会 活動休止 決定
採取した小枝を無駄にするのは忍びなく
それぞれ自宅で染めることにしました

染液作り 2020/ 8/ 6
液の色味や濁り具合を確認するために各自サンプルをとりました



(次頁に続く)

染色したのは、3種類の纖維

- ◆ 羊毛（コリデール）
- ◆ キャリア（シルクウールを作るための短い絹の纖維）
- ◆ 袋真綿

染め上がり 乾燥すると、色は纖維の種類で異なります



染色を終えて冷ましている
・キャリア（洗濯ネットに入っている）
・袋真綿

左は袋真綿
右はキャリア



左上・左下はキャリア
右上が袋真綿
右下が羊毛(ブルーフェイス)

(次頁に続く)

双糸に紡いだ羊毛（コリデール）



新コロナウイルスのためにサークル活動が休止となり
それぞれが家で手持ちの調理器具などを使って
「工夫」と「忍耐」の作業になりました

でも 桜の小枝は 春先にこんなことになるとは思わず
採取した私たちの期待に応えて まさに桜色に染め上げてくれました

<手紡ぎサークル3年>